

児童館における友だちづくりプログラムの効果の検討

—ソフトユニットを援用した活動の評価分析—

Study on The Effect of Friendship Program in Children's Center

—Evaluation Analysis of Activities Incorporating Soft Units—

有沢孝治

Koji ARISAWA

東海大学

Tokai University

Key words : 児童館、小学生の友人形成、ソフトユニット

問題意識と目的

友だちづくりの諸活動は、学校において盛んに行われているが、地域においても展開した方が効果的と考える。地域での友だちづくり活動の場のひとつとして児童館がある。児童館は、遊びを通じて自主性、社会性、創造性を身につける（児童健全育成推進財団ホームページ）活動の中で、子どもの友だちづくりの場（渡部 2011）としての機能を有している。そこで本研究では、児童館での友だちづくり活動を促進するためのプログラム（以下、Friendship Program の頭文字をとって FP とする）を設計・実践し、その効果を FP 後のアンケートから分析、検討する。なお、FP は心理教育的グループアプローチの一つであるソフトユニットの理論を援用した活動である。

方法

A 児童館の要請を受けて FP を実施した。参加した小学生は 73 名である（男子 30 名、女子 43 名：1 年 33 名、2 年 22 名、3 年 9 名、4 年 3 名、5 年 6 名）。

FP は「インストラクション」（5 分）、「関係開始を促すエクササイズ」（25 分）、「自分と相手の受け止め方を考えるエクササイズ」（10 分）、「ふりかえりとまとめ」（5 分）からなる活動（計 45 分）である。

参加児童は 5～6 名の小グループとなり、そこに学生スタッフ及び児童館職員をファシリテーター（1 名）として配置した。筆者は全体のリーダーとして関与した。

FP 後に今の気持ち（形容詞とオノマトペ【複数選択可】、色、形で表現）、学んだこと（友だちと仲良くなるためのヒントを得た、自分と友だちとの考え方の違いを理解した、自分と友だちの考え方は違っても仲良くなれると思う：以下、学びの 3 項目）を尋ねた。本研究では、この質問への回答を分析し、FP の効果と課題について考察する。

なお、本研究は東海大学の「人を対象とする研究に関する倫理委員会」の承認及び A 児童館、参加児童の保護者、参加児童の同意を得て進めた。

結果と考察

FP を「楽しい」と思った男子は 83.3%、女子は 86.0%、「ためになる」では、男子は 45.2%、女子は 66.7%、「ス

ッキリ」では、男子は 36.7%、女子は 46.5%であった。学年別では、「楽しい」は 1 年生 93.9%、2～5 年生 77.5%、「ためになる」は 1 年生 48.5%、2～5 年生 42.5%、「スッキリ」は 1 年生 57.6%、2～5 年生 30.0%となっており、性別、学年に関わらず「楽しめた」内容であり、半数程度は「ためになる」と考えていることがわかった。

次に、FP 後の気持ちの色表現についてみてみた。性別でみると、男子では、赤（20.6%）、ピンク（16.7%）、黄、青（13.3%）の順で多く、女子では、黄（25.6%）、ピンク（18.6%）、水色（16.3%）の順で多かった。学年別では、1 年生では、ピンク（18.2%）、黄（15.2%）、赤、水色（15.2%）の順で多く、2～5 年生では、黄（25.0%）、ピンク（17.5%）、赤（15.0%）の順で多かった。性別、学年別ともに黄色、ピンク、赤が上位であった。富田（1998）の色の感情価を基に解釈すると、黄色は快活、明朗、愉快、活動的、元気を、ピンクは愛らしさ、優しさを、赤は歓喜や興奮などを表す。このことから FP は、子どもたちの活動性を高め、やさしさを育むことに一定程度寄与したと考える。

次に、FP 後の学びの 3 項目について調べた。性別でみると、「仲良くなるヒント」（男子 70.0%、女子 76.7%）、「考え方の違いを理解」（男子 73.3%、女子 79.1%）、「考え方が違っても仲良くなれる」（男子 76.7%、90.7%）であり、男女ともに 70%以上がこれらを意識していた。学年別では、2 年生～5 年生の「仲良くなるヒント」（57.5%）以外の 2 つの項目で、1 年生でも 2 年生以上でも 75%以上がそのことを意識していた。こうした肯定的評価の要因には、参加者の特性やニーズの確認、柔軟なプログラム展開、学生ファシリテーターの導入などが考えられる。

以上のことから、FP は小学生の友人形成に貢献できると推測する。

参考文献

- ・児童健全育成推進財団ホームページ（閲覧日：2018 年 10 月 17 日）
<http://www.jidoukan.or.jp/what/support/childrens-center.html>
- ・渡部博昭 2011 『児童館の子育て支援』『よくわかる子育て支援・家族援助論（第 2 版）』ミネルヴァ書房、pp.132-133
- ・富田正利 1998 『第 17 章 色の感情効果』日本色彩学会（編）新編色彩科学ハンドブック（第 2 版）東京大学出版会、pp.675-680